区域の概要

- ・2025年の病床数の必要量と2017年度の病床機能報告を比較すると、病床総数は365床過剰となっている。
- ・病床機能別に比較すると、高度急性期機能及び急性期機能で602床過剰である一方、回復期機能については266床が不足する。
- ・2025年に向け、急性期から回復期への病床機能の転換を進めるとともに、全体的なスケールダウンが必要である。
- ・建替え後の市立伊勢総合病院の動向をふまえつつ、志摩病院を含めた3つの基幹病院の急性期機能のあり方について検討を進めていく必要がある。

2017年病床	機能報	きょうしゅう ひょうしゅう ひょうしゅう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょ	ケート	調査反	映後)		
医療機関名	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟· 無回答等	計	担うべ
伊勢赤十字病院	238	393	20			651	高度急性期・急性期医療や政
市立伊勢総合病院	49	200	30	43		322	市民のための病院として急性! 護等における市の施策を他の 括ケアシステム構築・発展に否
県立志摩病院		206	30			236	志摩地域の急性期病院としての も併せ持つ地域の中核病院と ての役割を担う。
志摩市民病院				60	17	77	基幹病院と連携しながら急性類性期機能を担う。また、地域包
町立南伊勢病院		50		26		76	地域における一次救急体制を む。また、地域包括ケアシステ
玉城病院				50		50	回復期機能を担うとともに、地
伊勢慶友病院		40	47	166		253	
伊勢田中病院			83			83	別途、今後の 佐頼中。
豊和病院				60		60	
医療法人白奉会 中 嶋医院		19				19	内科、外科、整形外科を標榜し への受け渡し機能、②緊急時 能、④終末期医療を担う機能を
畑肛門医院		19				19	肛門外科を標榜し、①専門医療に対応する機能を担う。
伊勢志摩レディスクリ ニック		19				19	産婦人科を標榜し、①専門医療に対応する機能を担う。
医療法人社団整形外 科網谷医院		19				19	整形外科を標榜し、①専門医療に対応する機能を担う。
寺田産婦人科		19				19	産婦人科を標榜し、、①専門医時に対応する機能を担う。

	2025年に向けた役割・医療機能ごとの病床数								
1		医療	介護保険施						
	担うべき医療機関としての役割	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	設等に移行 (2023年)			
1	高度急性期・急性期医療や政策医療に関する中心的な役割を担う。 ②救急 ②小児 ②周産期 ②災害								
2	市民のための病院として急性期・専門医療・ケアの充実を図り、予防、医療、介護等における市の施策を他の関係機関・団体と協働して推進、遂行し、地域包括ケアシステム構築・発展に寄与する。 ②救急 □小児 □周産期 ②災害								
6	志摩地域の急性期病院としての役割を引き続き担っていくとともに、回復期機能も併せ持つ地域の中核病院としての役割を担う。また、へき地医療拠点病院としての役割を担う。								
4	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □								
7	性期機能を担う。また、地域包括ケアシステムの構築に取り組む。								
6	地域における一次救急体制を維持するとともに、回復期機能の充実に取り組む。また、地域包括ケアシステムの拠点施設としての役割を担う。								
0	回復期機能を担うとともに、地域包括ケアシステムの中心的役割を担う。								
3									
3	別途、今後の対応方針等について、提出を 依頼中。								
)									
9	内科、外科、整形外科を標榜し、①病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能、②緊急時に対応する機能、③在宅医療の拠点としての機能、④終末期医療を担う機能を担う。								
9	肛門外科を標榜し、①専門医療を担って病院の役割を補完する機能、②緊急時 に対応する機能を担う。								
9	産婦人科を標榜し、①専門医療を担って病院の役割を補完する機能、②緊急時 に対応する機能を担う。								
9	整形外科を標榜し、①専門医療を担って病院の役割を補完する機能、②緊急時に対応する機能を担う。								
9	産婦人科を標榜し、、①専門医療を担って病院の役割を補完する機能、②緊急 時に対応する機能を担う。								

2017年病床機能報告(アンケート調査反映後)								
医療機関名	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟• 無回答等	計		
菊川産婦人科		18				18		
小原産婦人科		17				17		
医療法人 玉石産婦 人科		16				16		
うにた医院		9				9		
中條眼科志摩分院		8				8		
医療法人西井耳鼻咽 喉科		3				3		
さいとう内科呼吸器科 三重スリープクリニッ ク		3				3		
南島メディカルセン ター			15			15		
山崎外科内科			10			10		
河崎クリニック				19		19		
石橋外科内科				19		19		
医療法人和親会 本橋産婦人科					12	12		
計	287	1,058	235	443	29	2,052		

Ī	2025年に向けた役割・医療機能ごとの病	末数				
1		医療	介護保険施			
	担うべき医療機関としての役割		急性期	回復期	慢性期	設等に移行 (2023年)
	産科を標榜し、、①専門医療を担って病院の役割を補完する機能、②緊急時に 対応する機能を担う。					
	産婦人科を標榜し、①専門医療を担って病院の役割を補完する機能、②緊急時 に対応する機能を担う。					
	産婦人科を標榜し、①専門医療を担って病院の役割を補完する機能、②緊急時 に対応する機能を担う。					
	肛門外科を標榜し、専門医療を担って病院の役割を補完する機能を担う。					
	眼科を標榜し、専門医療を担って病院の役割を補完する機能を担う。					
	耳鼻咽喉科、アレルギー科、気管食道外科を標榜し、①専門医療を担って病院 の役割を補完する機能、②緊急時に対応する機能を担う。					
	呼吸器内科を標榜しているが、「いずれの機能にも該当しない」を選択している ため、今後確認する予定					
	内科を標榜し、①病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能、②緊急時に対応する機能、③在宅医療の拠点としての機能、④終末期医療を担う機能を担う。					
	内科を標榜し、①病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能、②緊急時に対応する機能、③在宅医療の拠点としての機能、④終末期医療を担う機能を担う。					
	眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科を標榜し、①病院からの早期退院患者の在宅・介護 施設への受け渡し機能、②終末期医療を担う機能を担う。					
	外科、内科、整形外科を標榜し、①病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能、②在宅医療の拠点としての機能、③終末期医療を担う機能を担う。					
	過去1年間に入院患者を収容していないことから、今後の運用の見通しについて説明いただく予定					_
						(計)
	2025年の病床数の必要量	216	527	501	443	1,687
	2025年の病床数の必要量と2017年病床機能報告との差	71	531	-266	0	365

※なお、この具体的対応方針については、毎年度、地域医療構想調整会議で協議し、とりまとめることとします。

別途、今後の運用見通しに ついて、提出を依頼中。